

3月18日
開業予定!

都心直結!

相鉄・東急直通線 試験走行に潜入

3月18日に開業を控えた相鉄・東急直通線(相鉄新横浜線、東急新横浜線)は、神奈川県羽沢横浜国大駅と日吉駅を結ぶ約10kmの路線です。2022年10月、工事がおおむね完了した新横浜駅では、JRTTと相模鉄道(株)、東急電鉄(株)のスタッフが連日真剣な様子で話し合っていました。ここでは、開業後に使用される鉄道車両の試験走行を通して、鉄道施設に問題がないことを確認する「総合監査」が行われています。開業後には相模鉄道や東急電鉄のほか、東京メトロや都営地下鉄など、さまざまな鉄道会社が所有する車両(6・8・10両編成)が乗り入れます。

この日は、10両編成を代表して、東急電鉄が所有する(5050系)車両を用いて営業時間帯に総合監査が実施されました。渋谷駅から新横浜駅まで3往復(渋谷・日吉間は折り返しのための回送。試験は日吉・新横浜間で実施)しながら、車両が所定の停止位置に自動で停止し、可動柵(ホームドア)の動作確認など、信号や機械をはじめとする電気・機械設備関係の試験が行われました。

皆さんが安心して利用できるよう、鉄道施設の完成後も、JRTTと多くの関係者が協力しながら開業に向けて準備を進めていきます。



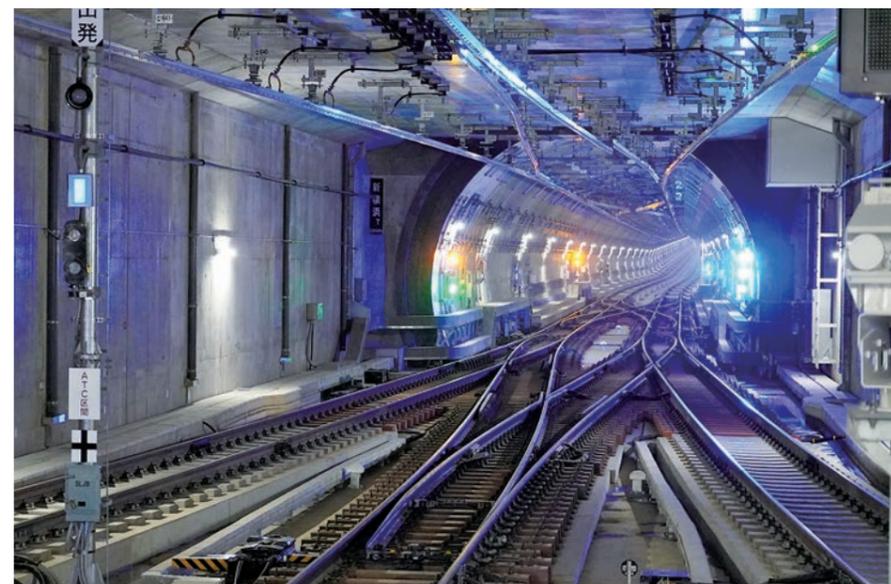
運転席やホーム端にあるモニター映像を確認しながらカメラの画角を調整する



全ての車両ドアと可動柵の隙間を測定する



車両ドアの中心と可動柵の中心を測定し、車両の停止位置にずれがないことを確認する



相鉄・東急直通線 TOPICS

新横浜駅の報道公開を2022年11月に行いました。当日は3月から営業を開始する相鉄・東急新横浜線のダイヤ概要も発表され、開業に向けた多くの人の期待が感じられました。フォトセッションでは、相模鉄道キャラクターの「そうにゃん」、東急線キャラクターの「のるるん」、両社の駅長とJRTTの早崎新横浜鉄道建築建設所長が手をつないで一体感を見せました。

